

阿波生活

◆主办：德岛县国际交流协会

◆二〇一二年八月

◆第一九四期

德岛县外国人

日本語演讲大赛获得圆满成功

7月16日下午1点30分，由德岛县国际交流协会主办，德岛地区留学生推进协会协办，德岛县议会国际交流议员联盟，阿波银行、德岛银行、德岛市国际交流协会赞助的德岛县外国人日本語演讲大赛在德岛县乡土文化会馆隆重举行。来自中国、越南、韩国、缅甸、加拿大、科威特、美国等7个国家的11名选手，用流利的日语作了精彩的演讲。

德岛县民有200多名观众到现场来观看演讲比赛，也有好多日本人专程赶来为他参加演讲的中国朋友加油。此次，参赛选手平均年龄为25岁，在日时间最短2个月，最长15年。选手们纷纷讲述了在日本生活的感受、生活上遇到的困扰和趣事、对国际交流的理解、学日语的方法等。选手们们的故事引起了全场的共鸣，而且镇定自若，或诙谐幽默的演讲，博得了观众的阵阵掌声。

此次获得最优秀奖的是鸣门教育大学姜旭（中国），演讲题目是「真心を持って」。他介绍自己通过自身体验「真心を持って」与日本人进行交流的基础，强调用真心待人接物，以此促进国际交流及中日关系发展，拉近彼此之间的距离，「真心を持って」是“最佳手段”。

获得德岛县议会国际交流议员联盟会长奖是德岛大学的程恬恬（中国），演讲题目是「恋をした私」。正值青春期她对日本美丽的事物充满了爱意。渴望着一场恋爱故事发生，给在场的人传递了对生活的热爱和信心。

获得优秀奖的是鸣门教育大学的刘晓彤（中国），演讲题目是「私たちには翼がある」。来日时间不长的她，展望未来愿中日关系友好地发展下去。另外一名优秀奖得主是鸣门教育大学的金奎道（韩国），演讲题目是「体験だけでは足りない」。他以自身的亲身体验讲述了在日本的生活和当地日本人的交流的故事。

在本次比赛中，获得特别奖是 Ibrahim Alhulail（科威特）的「三ヶ月間で結婚」、Joe Baxter（加拿大）的「日



本文化の過去と未来」、Chieng Ngoc Van（越南）的「私にとっての日本」。获得努力奖的是 陈以璞（台湾）「夢を掴む」、Doan Truong Thuat（越南）「言葉の意味」、Mary Miller-Maka（美国）「日本の子供たちは赤ちゃんの時から国際的な考え方ができる!」、Yan Aung Soe（缅甸）「豊かな私の国」。

比赛结束后，评委四国放送广播部部长远藤彰良先生为大赛做了点评。远藤彰良说本次大赛总体水平比往年有所提高。在题材，语言和内容等方面知识含量很高。特别是选手们来日后很短的时间里，就能在舞台上的泰然自若，流畅的日语给他留下了深刻的印象。

下午6点30分，在clement hotel举行了德岛县议会国际交流议员联盟和演讲比赛参赛者的交流会。在会上，议员联盟会议长北岛先生和德岛县议会议长樫本先生先后致词，对选手们的精彩表现予以肯定，并祝愿选手们在德岛的生活和学习顺利，希望为本国同日本的交流做出贡献。参赛选手们在轻松的氛围中，再次向大家做了自我介绍，谈了人生的目标，有的人还讲了演讲时的紧张的心情。

交流会在友好、轻松、热烈的气氛中结束。文化交流能够促进人的沟通，亦从另一个侧面反映出日常文化交流对于外国人融入当地社会的重要性。

（文章：德岛县国际交流员）

私は、中国から来日して、もうすぐ2年になります。

みなさんは、留学生の生活は、どんなものだと思いますか？毎日、どんなことを考え、どんな気持ちで生活しているか、想像できますか？この2年間を振り返ってみると、うれしいことが九割、悲しいことが一割。そんな気持ちで生活してきたような気がします。

うれしいことは、体調の悪い時には友達から心配してくれました。本当に言葉にならないくらいうれしく思い、感動し、自分も将来「ぜひ中国にいる日本人の友達にも何かをお手伝いしたい！」という気持ちになりました。

このように、留学生活にはうれしいこと・素晴らしい思い出がいっぱいです。なかでも、一番印象に残っているのは、今年の旧暦のお正月。1月の末に友達とお寺に行ったときの、まるで仏様のように優しいおばあさんに会ったときのことです。おばあさんは90歳を超えているように見えました。私たちが中国から来たのを聞いてこう言いました。「日本と中国はこの前いろいろあったでしょう。貴方たちは日中が仲良くできるよう頑張ってください。」と。本当に、心を込めて。それを聞いた私も友達もおばあさんの真摯な気持ちに、感動しました。本当に、心から日中友好のために何かをしたいと思うようになりました。思わず、涙がこぼれそうになりました。「こんな普通の話に涙を落す？」と不思議に思われる方も多いかもしれません。しかし、メッセージは言葉だけで伝えるものではなく、心から伝わるものも多いと思います。

日本での留学生活はこのよううれしい・暖かい思い出ではありません。悲しいことも時々あります。

例えば、大学の寮である日本人学生にあったときのことです。私の方から挨拶をしたのですが、無視されました。自分より年下の学生に無視されたことはとても気分が悪く、なんだか心に引っ掛かりました。そして、「今度会ったら自分も挨拶しない。」と決めて、そのようにしました。しかし、やっぱり気持ちは悪いまま。「こんな子供っぽい仕返ししかできないのか。」と自分が情けなくなりました。実は、そのあとは、その学生と会うたびに無視されても挨拶をし続けています。「自分に対する忍耐力テストだ。」と思うようにしました。

ですが、その学生に対して、不愉快な思いは全然ないのかといたら、そうではありません。やはり毎回不愉快な気持ちの繰り返しでした。そんな状況が一年余り続き、私は気がつきました。どうやってその問題を乗り越えられるのかを全然考えていなかった自分に。そして、ある日ふっとお寺で会ったあのおばあさんの赤ちゃんの

真心

我从中国来日已经有2年了。

大家觉得留学生的生活是怎么样的？每天都考虑着怎样的问题，抱着怎样心情生活着，能够想象得到吗？回想这2年的生活，高兴的事情占9成，悲伤的事情占1成。就是在这样的心态下生活着。

高兴的事情是在身体不适的时候有日本朋友关心。真实的感觉是语言都不能表达的高兴和感动，希望自己能在将来【为在中国的日本朋友做些什么】的心情。

像这样高兴和美好的事情在留学生活中还有很多。其中印象最深的是，今年农历元月的事情。1月底，与朋友一起去寺庙游玩之际，遇见了一位像佛祖一样温柔的老太太。老太太看起来已经有90多岁了。听说我们来自中国，说道【日本和中国在这之前发生各种各样的事情。你们为了日中关系能友好下去，一定要加油。】这是真心所说的话。听到老太太真挚的感情，我们也被感动了。真正的从心里想为日中友好关系做些什么。不经意间，泪水充满了眼眶。【这样普通的谈话也会掉眼泪】抱有这样想法的人数不在少数。但是，这样的信息不仅仅是语言的传递，而是从心里传达着更多的东西。

日本的留学生活不但有像这样高兴和温暖的事情，有时也有悲伤的事情。

比如，在大学的学生宿舍里与日本大学生会面之际发生的事情。我积极地向他进行问候，但是被无视了。被比自己年龄小的学生无视，其实心情是很不好，总觉得心里受堵了。然后，我从心里决定【下次再见时自己不会主动打招呼】。但是还是觉得心里不舒服。【只能有像孩子一样赌气的行为吗？】对自己的行为感到很

ような明るい目つきと優しい笑顔を思い出しました。「もしあのおばあさんのような人が挨拶をしたら、あの子はいくら冷たくてもきっと無視することはできないでしょう。」そう思うようになりました。そして、どうして自分はそのようにできないのかを考えるようになりました。そうすると、自分はおばあさんみたいに真心で人に接していないのではないか。だから相手からも同じように接してくれないのではないか、そう思うようになりました。

確かに、自分はちゃんと挨拶をしていたつもりでも、いつも無表情のまま済ませていたのです。自分も真心をまったく持っていないのに、他人にそれを求めるのは、恥ずかしく思いました。「日中友好のために何かしたい!」と言っても、これではきつとうまくいくはずがありません。「挨拶」という小さなことですら、真心をこめてできていなかったんですから…。

それに気づいた私は、あのおばあさんをお手本にして真心を込めることを意識し、他人に接しようと思いました。実際にそうしたところ、不思議と周りの人からの善意、優しい心に触れることが、ぐっと増えたように思います。実は、あの学生も、私の変化に気がついたのか、やはりどこか冷たい印象はあるのですが、今では私の挨拶に返事をしてくれています。もしかすると、その学生も実は仏様で、私に真心を持って人に接することを教えるために、わざわざそうしたのではないかと…というのは、ちょっと考えすぎでしょうか。

私は、日本の先生方、友達のあたたかい気持ち、そしてあのおばあさんからいただいた思い出によって、心からの笑顔、真心のこもった言葉を伝えるためのスタート地点に立ちました。そして、これから、この真心を持って、日中友好に一步を踏み出してみようと思います。まだまだ何をすればいいのかもよくわかりません。ですが、この「真心」が道を切り開いていくってくれるのではないかと信じています。

ご清聴どうもありがとうございました。



最優秀賞获得者：姜 旭

无奈。实际上，在哪以后与那位学生见面之际，即使被无视也持续着主动问候。【这是对自己忍耐力的测试】自己这么考虑着。

但是对那位学生不愉快的想法完全没有吗？其实不然。每次见面之际都会充满不愉快的心情。这样的状况持续了一年左右，我突然意识到这样是解决不了问题。这样是永远也解决不了问题。然后，有天我想起了在寺庙见到的老太太像婴儿一样的眼睛和温柔的笑脸。【如果像那位老太太一样向人问候，不管那个孩子怎样冷淡也不会无视吧？】我考虑到。然后，我就考虑如何做到那样。如果是那样，自己以前就没有用真心与人交流。那么，怎么能要求他人用同样的态度来对待自己呢？

确实，自己是想着与人问候，但是常常是没有表情的问候。如果自己没用真心问候，那么如何去要求他人，真是感到羞耻。老是说【为了日中友好做点什么】，如果是这样肯定不能顺利推进。【问候】是件很小的事情，如何不是用真心去对待——

我意识到这点后，决定以那位老太太为模本用真心去待人接物。实际上这么做后，发觉不可思议的是，能接触到来自周围的人们善意和温柔之心的机会增多了。事实上，那位日本学生可能意识到了我态度的改变，虽然感觉有点冷淡，但是对我的问候却给予了回复。难道说那位日本学生是佛祖的变身，为了来教我用真心来对人接物，专门这样做的——或许是我想得太多了。

我接受了来自日本的老师们，朋友们温暖的关怀，及那位老太太的提示，从心中表现出的笑脸，促成了我以真心对人接物传达语言的起始点。以后，我将以真心为日中友好关系促进踏出第一步。虽然要做什么我还没有概念。但是我相信只要拥有【真心】去待人接物，未来的路一定会很开阔。

谢谢大家的静听！

德岛新闻

上海电视台来访本县 拍摄旅游宣传片

6月24日，中国上海市电视台等相关人士为制作介绍德岛县旅游地及传统文化的节目，专门来访德岛县。这个项目是德岛县驻上海事务所为提高德岛在中国的知名度积极邀请的结果。

除了阿波舞外，节目组还前往大鸣门桥的游览设施【涡之道】及大塚国际美术馆，大步危，蓝染体验馆等地取材，本节目预定9月在中国分2次播放。

此次来县访问的团队是由上海广播电视台的沈立生制片人等4人，与海润影视制作有限公司的曲光辉董事长组成。当天，采访团队前往德岛市内的阿波舞会馆，拍摄了有名连队阿波鸣连的阿波舞表演。

具有气势的阿波乱舞和太鼓及小钟的鸣响，使摄影师和团员们得到了很大的满足。主持人也加入了乱舞队伍，初次学着连队的成员挥动着手脚。

沈制片人谈到「在中国已对阿波舞有所耳闻，这次能亲身体验阿波舞感到很高兴。德岛的知名度还很低，希望通过这个节目能扩大影响及提高大家对德岛的兴趣。」一行人将在德岛县内采访取材到7月1日。

(转载德岛新闻 德岛县国际交流员翻译)



明日多梦园与江苏省科学技术馆

进行友好协议的协商

板野町的县立明日多梦园德岛和中国江苏省科学技术馆之间就友好提携关系进行了协商。江苏省科学技术馆提出了进行交流的意愿，7月9日，肖明德副馆长为团长的代表团访问了明日多梦园。

今年2月，德岛县观光协会邀请中国相关人员来县推广教育旅行之际，江苏省科学技术馆的相关干部参观了德岛县明日多梦园。6月中旬，通过县观光协会提出友好交流的意向。

肖馆长此次带领江苏省内中小学校的学生共39人访问日本。参观了德岛明日多梦园内的儿童科学技术馆。学生们体验了馆内的放电空间及各类科普设施。肖馆长视察了科技馆后与运营设施和园区的公司负责人进行了会谈。

肖副馆长提出就园区的工作人员进行相互派遣研修活动，县厅对此也做出积极回应。今后，双方将通过德岛县上海事务所的窗口进行交涉，为以后交流活动的具体事项协商。肖副馆长提到：中国在集合各种体验型设施的科技馆还比较少，希望通过科技领域的交流活动，推广到观光及文化交流等其他领域。

江苏省科学技术馆拥有200多种展示品，一年中有20万人来馆参观。同时，以中小學生为对象，组织其在假期开展教育旅行等活动。

(来源：德岛新闻 德岛县国际交流员翻译)

访问日本的小学校（一）

在八月的暑假之前，几乎每周都要到市里的各个小学去上课，感叹，全世界的孩子都一样的可爱呢。

日本的学校很干净，进入教学楼一定要脱下鞋进去，教学楼基本都是木地板，孩子们每天都要打扫卫生，早上四节课，每节课45分钟，下午低年级一节课，高年级两节课，之后又是打扫卫生和社团活动，比如棒球什么的。中午，孩子们也是踢足球或是种花，学习小提琴什么。日本的学校普遍人比较少。学习设备非常好。

孩子们非常可爱，只要见人一定会鞠躬打招呼。我每次给孩子们上一节课的中国文化课。本来我没有设置提问环节，因为孩子们的问题很难回答，总是让我绞尽脑汁。可是学校总是要求一定要有提问环节。于是，我就经常被孩子们的问题搞得语塞。比如，中国什么最好吃？我就语塞了。功夫真像电视上那么厉害吗？其实这个问题我也一直在怀疑，我也很想问问少林寺。有时很可爱，比如今天孩子们问我，你几岁了，我说27岁，一致惊呼，好年轻，难道我看着很老吗？看在孩子们很可爱的份上原谅他们了。然后孩子们又问，你有男朋友吗，我说，我结婚了，再次一致惊呼，特别可爱。还有孩子会举手，请他站起来，他会很郑重的说，谢谢您给我们上课。非常感动。上完课，在回市政府的路上遇到放学的低年级的孩子，他们在车窗外向我挥手，嘴里重复的喊着我教他们“谢谢”，直到我的车子走远。

（德岛县美马市 国际交流员编写）



中国江苏省中小学生访问北岛北小学校（二）

7月9日中国江苏省的少年儿童访问了德岛县北岛町的北岛北小学校，与6年级的小学生进行了交流。

来访的是江苏省科学技术管主办的修学旅行，一行包括10-19岁的少年儿童共39人。北岛北小学的6年级学生64人手举着中国国旗迎接中国学生的到来。在体育馆内双方相互作了自我介绍，并交换了纪念品。随后，中国和日本的学生混杂在一起，分成3个小型团队进行了投篮和拔河的游戏。

交流活动的最后，中日双方各派代表演讲了自己未来的梦想。日方的2名代表谈到自己想成为日本篮球队代表和伟大的科学家，中方的代表谈到自己已经练习钢琴10年有余，希望未来能成为一名专业的钢琴家，望各位支持和鼓励。

孩子们超越了语言的障碍很快就结成了好朋友，中国访问团中的陈怡文（11岁）说道：我们感到很亲切，希望能再来德岛游玩。小林花音（12岁）说道：大家一起玩得很高兴，希望也能去中国看看。

此次来访德岛的修学旅行团是县观光协会前往中国宣称的结果。访问团一行从8日开始进入德岛县内，参观了德岛市的阿波舞会馆及鸣门市的涡之路后，访问了北岛北小学校。

（编辑 德岛县国际交流员）

丹东市艺术学校儿童来访德岛市（三）

7月16日，与德岛市结为友好城市关系的中国丹东市艺术学校派遣学生们于16日-19日期间访问德岛市。访问期间，将于德岛市内小学校的合唱团队共同进行表演。

本次访问团主要是由丹东市青少年宫组织的儿童27人及陪同共计35人。一行人于16日进入德岛市，17日正式拜访原秀树市长。17日下午2点半在县教育委员会馆与千松小学校合唱组共同举办公开演出。演出上将表演舞蹈，合唱及钢琴演奏等。

18日访问团一行将访问加茂南小学校，观看学校的公开课后，与小学生们在体育馆内进行游戏等交流活动。

艺术学校本预计于去年夏季来访，因东日本大地震的影响而推迟。

（来源德岛新闻 翻译德岛县国际交流员）

一起来跳阿波舞蹈吧！

今年的德岛市国际交流协会也将组织阿波舞蹈团参加舞蹈大会。请国外来的朋友们也来参加，体验下阿波舞蹈的乐趣。报名到8月10日为止，请有意参加的朋友们在那之前告知我们，与大家一起体验夏天的德岛吧！

时间：2012年8月12日（周日）

16:00～17:00 签到，集合
(请到德岛市国际交流协会)

同上时间 简单的饮食

17:30～ 舞蹈练习
(TIA前面的公园)

18:00～ 出发

(日程会因为各种原因发生更改，请理解！)

参加费和零食费用：TIA会员和外国人（小学生以上）= 500日元

非会员（高中生以上）= 2000日元

(小学生以上中学生以下) = 1000日元

携带身体残疾证的人士以上价格减半。未成年者请由同行者携带参加。

阿波舞的服装：

可以借TIA独创的跳舞服。出借押金2000日元。返还衣服时，去掉清洗费用500日元，返还1500日元。有想借的人士请提交申请书。短袖衣服，短裤（牛仔裤也可），跳舞用的鞋子（运动鞋也可），以上物品请自备。另外，跳舞服装也在贩卖5000日元。

活动当天也在召集以下类型的志愿者：

- 1, 能帮忙准备签到和餐饮的场所和打扫的人。
- 2, 为了使团队顺利的进行，协助国际交流协会引导交通的人。

有以上志愿的人士请联系德岛市国际交流协会事务所。

TEL:088-622-6066

活动导航

阿波おどり

德岛を代表するイベントといえば、何とんでも阿波おどり。4日間の人出は約130万人、踊り子は約10万人が繰り出します。期間中は、徳島市中心街一円が踊りの渦に巻き込まれ、興奮のるつぼと化します。「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにゃそんそん」のお囃子どおり踊る阿呆になって、どうぞごゆっくり阿波の徳島を体感してください。

開催期間：8月12日（日）～15日（水）※毎年同日

第1部 18:00～20:00、

第2部 20:30～22:30（前・後半入替）

お問い合わせ：徳島市観光協会、徳島新聞社企画事業部

TEL：088-622-4010 088-655-7331

開催地：徳島市内中心街

アクセス：JR徳島駅から徒歩約20分内で各演舞場到着出来ます。

阿波舞节

说到德岛的代表性的活动，那非阿波舞莫属了。4天的节日期间里约有130万人，阿波舞舞者约有10万人参加活动。活动期间，德岛市中心街一带沉浸在阿波舞的海洋里。正如《跳的傻，看的傻，不跳更傻》所说的那样，成为跳的傻子，亲身体会阿波舞的德岛吧。

举办时间：

8月12日（周日）～15日（周三）※每年同日

第一部 18:00～20:00

第二部 20:30～22:30

联系方式：徳島市観光協会、徳島报社企画事業部

TEL:088-622-4010 088-655-7331

举办地点：徳島市中心街

乘车路线：从JR徳島站到各舞蹈场地步行约20分钟。

鳴門市阿波おどり

鳴門市の阿波おどりは、県下のトップを切って3日間華やかに行われます。毎日約30連が大乱舞。期間中は軽快な「よしこの」のリズムに乗って街中が踊りの熱気に包まれます。

開催期間：8月9日（月）～11日（水）

19:00～22:00

問い合わせ：鳴門市商工観光課 TEL：088-684-1157

開催地：鳴門市 JR 鳴門駅西側 特設演舞場及び市内商店街

※雨天の場合、鳴門市文化会館

料金：[有料演舞場]（小学生以上は必要）

前売り 600円 当日 800円

アクセス：JR 鳴門線「鳴門駅」下車→徒歩3分

神戸淡路鳴門自動車道「鳴門IC」→車で10分

鳴門市阿波舞节

鳴門市阿波舞节是在县内率先举办的，一场盛大的活动。一共举行3天。每天约有30个连出演。活动期间，人们随着轻快的阿波舞的节奏跳舞，整个城市沉浸在热闹的气氛中。

举行时间：8月9日（周一）～11日（周三）

19:00～20:00

联系方式：鸣門市商工観光課 TEL:088-684-1157

举行地点：鸣門市 JR 鸣門站西側 特設的表演场地和市区商店街

※雨天的情况，在鸣門市文化会館举办

费用：《收费表演场》（小学生以上者需购买）

预售 600日元 当日 800日元

乘车路线：JR 鸣門线「鸣門站」下车→步行3分钟

神戸淡路鸣門自動車道「鳴門IC」→开车10分钟

吉野川市納涼花火大会

約1,000発の打ち上げ花火と仕掛け花火があがり、夜空を美しく色どります。

開催期間：8月6日（月）

20:00～21:00

お問い合わせ：吉野川商工会議所

TEL：0883-24-2274

開催地：吉野川市鴨島町知恵島字北須賀東

吉野川市鴨島運動場

料金：無料

アクセス：JR 徳島線「鴨島駅」下車→徒歩で20分

吉野川市納涼烟花大会

约有1000发的喷射烟花和艺术烟花会发射，使夜空灿烂无比。

举行时间：8月6日（周一）

20:00～21:00

联系方式：吉川商工会議所

TEL：0883-24-2274

举行地点：吉野川市鴨島町知恵島字北須賀東

吉野川市鴨島运动场

费用：免费

乘车路线：JR 徳島線「鴨島站」下车→徒歩约20分钟

宅宮神社の神踊り

徳島市の「重要文化財習俗技芸」に指定されている「宅宮神社の神踊り」は、古く平安時代の末頃から始まったと伝えられ、五穀豊穰・悪病退散を祈願して、毎年旧暦7月16日に13地区の氏子（馬組と称す）が輪番で古式豊かに奉納されてきました。現在は、11馬組で奉納日は8月15日。

開催期間：8月15日 式 13:30～踊り 14:00～16:00

お問い合わせ：宅宮神社社務所

TEL：088-668-0167

開催地：徳島市上八万町上中筋558 宅宮神社境内

アクセス：JR 徳島駅→徳島市営バスの宮・しらさぎ台行きで約25分、「上八万小学校前」下車

宅宮神社の神舞

徳島市の《宅宮神社の神舞》是国家指定的《重要文化财产风俗技艺》之一。该活动是平安时代末开始举行，每年阴历7月16日，13个地区的氏族神的子孙祈愿五谷丰登、驱逐疾病轮流向神灵奉献古老的丰富多彩的神舞。今年是11区，活动日是8月15日。

举行时间：8月15日（仪式）13:30～（神舞）14:00～16:00

联系方式：宅宮神社社務所 TEL：088-668-0167

举行地点：徳島市上八万町上中筋558 宅宮神社境内

乘车路线：JR 徳島站→乘开往一の宮・しらさぎ台方向的徳島市営公交，约25分钟后，在「上八万小学前」站下车。

いけだ阿波おどり

市内外から約30連の踊り子達が乱舞、池田の夜を熱くします。13日には前夜祭を開催。しなやかな女踊りと、豪快な男踊りの融合は見事です。飛び入り歓迎の連もあり、是非池田の土産話に、阿波踊りを体験してみても？県外客でゆっくりと腰掛けて観覧できる場所として栄町通りに有料観客席が約800席ございます。

開催期間：8月13日（月）～16日（木）

13日（前夜祭）19:00～

14～16日 19:00～22:30

お問い合わせ：三好市観光課 TEL：0883-72-7620

開催地：三好市池田町 13日 池田総合体育館

14～16日 JR阿波池田駅周辺

無料観客席：各商店街観客席・へそっ子公園ステージ
観客席ほか

有料観客席：栄町通り

アクセス：JR徳島線「阿波池田駅」下車→すぐ

池田阿波舞節

来自市内外的约30个连的舞者进行表演，使池田的夜晚变得无比热闹。13日举行节日前夜的庆祝活动。优美的女舞及豪爽的男舞之间的融合，非常完美。另外，还有临时参加的连，大家一起来体验一下阿波舞，作为旅途见闻怎么样呢？为了让县外的游客能坐着观赏阿波舞，我们在荣町大道提供收费看台座位共800个。

举行时间：8月13日（周一）～16日（周四）

13日（前夜祭）19:00～

14日～16日 19:00～22:30

联系方式：三好市観光課

TEL:0883-72-7620

举行地点：三好市池田町

13日 池田総合体育館

14日～16日 JR阿波池田駅周辺

免费观众席：各商店街观众席・hesoko 公园观众席等

收费看台座位：栄町大道

乘车路线：JR徳島線“阿波池田駅”下车即到。

にわか連、踊ろう！

本場徳島で阿波踊りを体験したい人は、にわか連で自由に踊れます。阿波踊りを全く知らなくても大丈夫。有名連の手ほどきを受けて、演舞場へレッツゴー。

開催期間：8月12日（日）～15日（水）

受付時間：18:30～ ・20:30～

お問い合わせ：徳島市観光協会 TEL：088-622-4010

開催地：徳島市

集合場所：徳島市役所前 市民広場

新町橋通りの東新町商店街入口

定員：無料

参加 Niwaka 連、跳阿波舞吧！

想在阿波舞发源地—徳島亲身体验阿波舞的人，参加 niwaka 连，尽情地跳吧！一点都不会跳的人也不要紧。接受有名连的指导，就可以进表演场。

举行时间：8月12日（周日）～15日（周三）

接待时间：18:30～ ・20:30～

联系方式：徳島市観光協会 TEL：088-622-4010

举行地点：徳島市

集合場所：徳島市市役所前 市民广场

新町桥街的东新町商店街入口

定员：免费

■ 发 行 ■

地址：〒770-0831

徳島市寺島本町西 1-61

クレメントプラザ 6 F

TEL 088-656-3303

FAX 088-652-0616

www.topia.ne.jp

E-mail : topia@topia.ne.jp



■ 发 行 ■

地址：〒770-8570

徳島県観光国際局 国際戦略課

徳島市万代町 1-1

TEL 088-621-2028

FAX 088-621-2851

www.pref.tokushima.jp

主编：罗拓夫 藤原 唯